

# 国民の声聞かないのか

7/15  
32

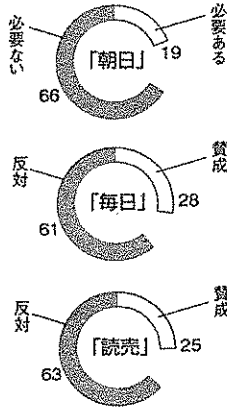
## 採決強行を許さない世論のうねり



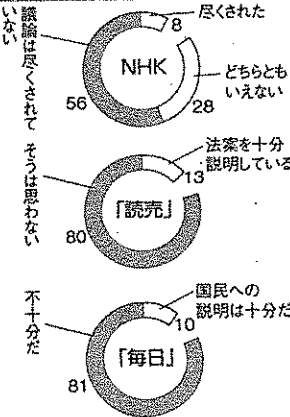
「戦争法案反対」「安倍はやめろ」と抗議する人々たち=10日、国会正門前

※「朝日」は7月11～12日、NHKは7月10～12日、「毎日」は7月4～5日、「読売」は7月3～5日にそれぞれ実施

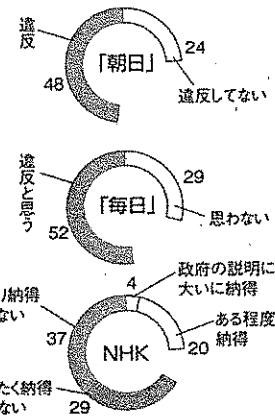
### 戦争法案の今国会成立は



### 法案に対する説明、国会審議は



### 法案の合憲性は



## 反対世論軽視の首相を批判

「自衛隊やPKO(国連平和維持活動)も最初は反対多数だったが、今では国民の多くが支持・賛成している」。安倍首相は国会審議でこう繰り返す。戦争法案反対の国民世論を軽視する姿勢を示している。

これについて柳沢協二氏(元内閣官房副長官補)は13日、国民安保法制懇の記者会見で、「法案を強行採決しても国民世論の支持が戻ってくるというのは大変な間違いだ」と批判し

元内閣官房副長官補 柳沢協二氏

た。柳沢氏は「これまで自衛隊に国民の理解があったのは、海外で戦争しなかったからだ。この法案でやろうとしていることは海外で殺し、殺されることだ」と指摘。また「自衛隊は国民が理解している以上のことではない。多くの国民が法案についてわからないといっているのに、その法律に基づいて自衛隊が海外でリスクを負い殺されるような任務を与えられるようなことは絶対に許せない」と語りました。

## 強行しても支持戻る は間違い

「強行しても支持戻る」というのは「黒塗り」で提出しては、黒塗りで提出していることを指摘。黒塗りを解除した文書の提出にまだ応じていません。14日の審議強行で、総審議時間は106時間52分(野党欠席時間除く)になりました。しかし、どんなに審議時間を重ねても違憲の戦争法案は「合憲」にはなりません。6日に沖縄県と埼玉県で行われた地方参事人会では、与党推薦の参事人からも慎重な審議を求める意見(沖縄)や「まだ議論が必要なのは明らか」(埼玉)などの意見が相次ぎました。たまたま相次ぎました。論点は山積しています。

どの世論調査でも、法案の今国会成立反対は6割前後で、「賛成の2割3分の倍に達しています(グラフ)」。政府の説明が「不十分」との声も8割超で、高止まりのまま。「憲法違反」との指摘も半数に達している調査結果が多く、「国民の理解が進んできた(13日、安倍首相)」といえる根拠など一つもありません。

審議に不可欠な情報開示すら、最低限の情報開示すら怠っています。日本共産党の殺田恵二議員は10日の委員会、陸上自衛隊イラク派兵の実態を説明に記録した文書がありながら、政府が国会議員の資料要求に対しては「黒塗り」で提出しては、黒塗りで提出していることを指摘。黒塗りを解除した文書の提出にまだ応じていません。14日の審議強行で、総審議時間は106時間52分(野党欠席時間除く)になりました。しかし、どんなに審議時間を重ねても違憲の戦争法案は「合憲」にはなりません。6日に沖縄県と埼玉県で行われた地方参事人会では、与党推薦の参事人からも慎重な審議を求める意見(沖縄)や「まだ議論が必要なのは明らか」(埼玉)などの意見が相次ぎました。たまたま相次ぎました。論点は山積しています。



明日の自由を守る若手弁護士 倉持 麟太郎さん

## 説明不足の論点 80個超

私はさいたま市での衆院安保法制特別委員会(6日)に参加者として出席し、これまでの国会審議で議論されていない論点が40個以上もあると指摘しました。その後も、全く触れられていない論点、説明不十分な論点を調べてリストを作っていますが、その数は80個以上にのぼっています。

考人として出席し、これまでの国会審議で議論されていない論点が40個以上もあると指摘しました。その後も、全く触れられていない論点、説明不十分な論点を調べてリストを作っていますが、その数は80個以上にのぼっています。

安倍首相からはまともに説明する姿勢は見えません。「夏までの法案成立」という米国の約束重視、国民と法の支配の軽視であり、権力者がこの節度が欠如しています。

こつたなかで採決すれば、違憲である法案内容とも手続き面でも民主的正當性を欠くこととなります。安倍首相からはまともに説明する姿勢は見えません。「夏までの法案成立」という米国の約束重視、国民と法の支配の軽視であり、権力者がこの節度が欠如しています。

政府・与党は戦争法案について、「いつまでも待たせたらやめるべきじゃない」「決めるべきは決める」「必要だ」「審議準備官房長官」「もう論点は出尽くしている」「自民党・谷垣禎一幹事長)などと強弁し、15日に採決を強行する姿勢です。しかし、直近の世論調査でも「今国会の成立反対」議論が広がっている。「国民の声聞かないのか」という問いに「必要ない」66%、「必要あり」19%という結果が出ている。7月6日の「毎日」では、不支持率が6月から7月の増の43%にNHK、14日に「朝日」まで飛び火している形で、次々と支持・不支持が逆転する結果が出ています。戦争法案の反対世論の熱気が、内閣支持率にまで飛び火している形で、次々と支持・不支持が逆転する結果が出ています。

今月に入って報道各社の全国世論調査では、内閣不支持率が支持率を上回る事態が相次いでいます。7月6日の「毎日」では、不支持率が6月から7月の増の43%にNHK、14日に「朝日」まで飛び火している形で、次々と支持・不支持が逆転する結果が出ています。戦争法案の反対世論の熱気が、内閣支持率にまで飛び火している形で、次々と支持・不支持が逆転する結果が出ています。